

平成6年度 Best Author 賞の表彰

本学会では平成3年度から「Best Author 賞」を設け、学会誌「情報処理」に掲載された記事の中から、特に多数の会員の研修ならびに学術・技術の啓蒙、普及に貢献した記事を選び、その著者を表彰することにいたしております。

本賞の選考は、表彰規程および Best Author 賞候補者選定手続にもとづき、学会誌編集委員会（委員長 弓場敏嗣）が選定委員会となり、学会誌「情報処理」第35巻第1号～第12号に掲載された対象記事122編につき慎重に審議を行った結果、下記の6編が受賞候補記事として選定され、第396回理事会（平成7年3月）の承認をえて決定されました。なお、本学会表彰規程により、5月19日に開催された第37回通常総会において、著者に表彰状および賞金が授与されました。

素朴な疑問「 π のケタ数の世界新記録が出たとき、審査員はどうやって確かめるのか？」

(Vol.35, No.2)

金田 康正君（正会員）

1949年生。1973年東北大学理学部物理第二学科卒業。1978年東京大学理学系研究科博士課程修了。理学博士。1978年名古屋大学プラズマ研究所助手。1981年東京大学大型計算機センター助教授。現在に至る。その間英国ケンブリッジ大学計算機研究所客員研究員、名古屋大学プラズマ研究所客員助教授、核融合科学研究所客員助教授。昭和58年度情報処理学会論文賞受賞。

特集「TRONプロジェクトの現状と展望」(Vol.35, No.10)

1. 未来社会におけるインフラストラクチャとしてのコンピュータと TRON プロジェクト

坂村 健君（正会員）

東京大学理学部情報科学科助教授。1984年よりリアルタイム大規模疎結合分散システムの構築を目指した TRON プロジェクトを興し、プロジェクトリーダーを務める。Computer Augmented Reality, Enable ware, Digital Museum 等に興味を持つ。米 IEEE MICRO 誌編集委員。IEEE、電子情報通信学会、情報処理学会より論文賞受賞。

特別論説「情報処理最前線」(Vol.35, No.8)

我が国における地域ネットワークの誕生

林 英輔君（正会員）

1961年東京都立大学理学部物理学卒業、1963年同大学院修士課程修了、1971年工学博士（名古屋大学）、1963年名古屋大学工学部助手、1969年山梨大学工学部講師、1970年同大学助教授、1981年から同大学教授、1982～1995年同大学情報処理センター長。現在東京地域アカデミックネットワーク（TRAIN）運営委員長。研究分野は、物性計算科学、情報処理教育工学、コンピュータネットワーク、分散システム。日本物理学会、教育工学会、現在、情報処理学会では主に分散システム運用技術研究グループで活動。

特別論説「情報処理最前線」(Vol.35, No.1)

自動翻訳電話の実現に向かって

森元 逞君（正会員）

昭和43年九州大学電子工学卒業。昭和45年同大学院修士課程修了。同年日本電信電話公社に入社。以来、同社電気通信研究所にて、オペレーティングシステム等の研究開発に従事。昭和62年より、ATR自動翻訳電話研究所にて、音声言語翻訳システム、特に音声言語統合方式、音声言語理解方式などの研究に従事。現在、ATR音声翻訳通信研究所、第4研究室室長。電子情報通信学会、人工知能学会、言語処理学会各会員。

特集「情報理論の計算機システムへの応用」(Vol.35, No.7)

1. ユニバーサルデータ圧縮アルゴリズム：原理と手法

山本 博資君

1952年生。1975年静岡大学工学部電気工学科卒業。1980年東京大学大学院工学系研究科電気工学専門課程博士課程修了。工学博士。同年徳島大学工学部助手。同講師、助教授を経て、1987年電気通信大学電気通信学部助教授。1993年東京大学工学部助教授、現在に至る。情報理論、暗号理論、通信理論などの研究に従事。IEEE、電子情報通信学会、情報理論とその応用学会、応用数学会各会員。